

教師説明型

児童生徒実践型



熊本県人吉市立人吉西小学校
中島 公洋
小園 貴寛

実践テーマ

模範の動作や自分たちのゲームの映像を見ることで、技能ポイントや作戦の理解と共有を図る。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 模範の動きを見て練習方法を確認したり、バスケットボールのルールを確認したりする。
- 〈展開〉 ステージの上から5分程度の試合を撮影し、試合後に今の試合をすぐに見ることができるようにし、チームの動きを見て、よかった点や課題等を出し合い、練習方法や作戦を考える。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・チームの作戦、練習内容について確認する(動画①)。	●ハイビジョンクリップ「バスケットボール」(DVD)
展開	・前時の試合で出た課題をもとにチームで練習をする(動画②)。 (5分×3でローテーションしながら、練習及び作戦タイムをする)。 A・Bコート：試合・練習 ステージ：話し合い ・3チームがローテーションをしながら試合(3分間)及び審判を行う。	●自分たちの練習の様子(タイムシフト再生)
まとめ	・活動の反省をグループごとに行い、次時の作戦等について話し合う。	



DVDを見て、練習方法やルールなどの確認をする



タイムシフト再生で、自分たちの練習の様子を確認

児童の反応・効果

- ・コンテンツの動画を一時停止やスロー再生で見ること、動きのイメージやポイントをよりつかむことができた。
- ・自分たちの実際の動きを確認することで課題点が明確になり、解決に向けての学習意欲が向上した。
- ・チームの動きを映像で見ることで、チームのよい点や課題がわかったり、空いたスペースにどのように動くかを考えたりする点で効果が見られた。

活用のポイント

- ・ローテーションで実際に練習や試合をした後、自分たちの動きをタイムシフト再生で確認できるようにするとよい。
- ・タイムシフト再生は、自分たちの練習(試合)時間だけずらして再生する。